

令和2年1月31日

沖縄県知事 玉城デニー様

幸福実現党 沖縄県本部

代表 下地玲子

玉城知事に新型コロナウイルスの対策を求める要望書

現在、中国・河北省武漢市で発生した新型コロナウイルスの全世界感染者は8100名に達し、2002～2003年に流行した重症呼吸器症候群（SARS）の8096人を上回りました。170名の肺炎による死亡者が確認されています。日本国内の感染者も14名となりました（1/30時点）。

中国政府が国外への団体旅行を禁止したため、中国大陸からの入域客数が減り、県経済への影響を深刻に受け止めるものではありませんが、昨年、中国大陸から70万人を超える観光客を受け入れてきた我が県であるからこそ、緊急かつ徹底した予防と対策が求められるのではないのでしょうか。

当初、新型コロナウイルスは人から人への感染はないとされていましたが、中国の国家衛生健康委員会は1月26日、「潜伏期間に感染する可能性がある」「感染力は強くなっている」と発表しました。

今回の新型肺炎では、国内で無症状の感染者も発見されました。軽症患者からも感染が広がっています。現在ワクチンもありません。極めて深刻な事態であります。

よって以下、要望いたします。

— 記 —

- 一、1月28日、日本政府は新型コロナウイルスによる肺炎について、感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法の「検疫感染症」に指定する政令を閣議決定した。政府と連携して着実に水際対策を徹底、強制的措置を強化すること。
- 一、県の広報、メディアを通じて正確で迅速な情報を県民に開示すること。
- 一、体調の異常を感じた際には、躊躇することなく検査を受けていただく。体調の悪い人を見つけたならば検査を受けることを勧める。その際の最寄り指定医療機関名と、検査診療費等を公費で賄う旨告知し、実施すること。

以上